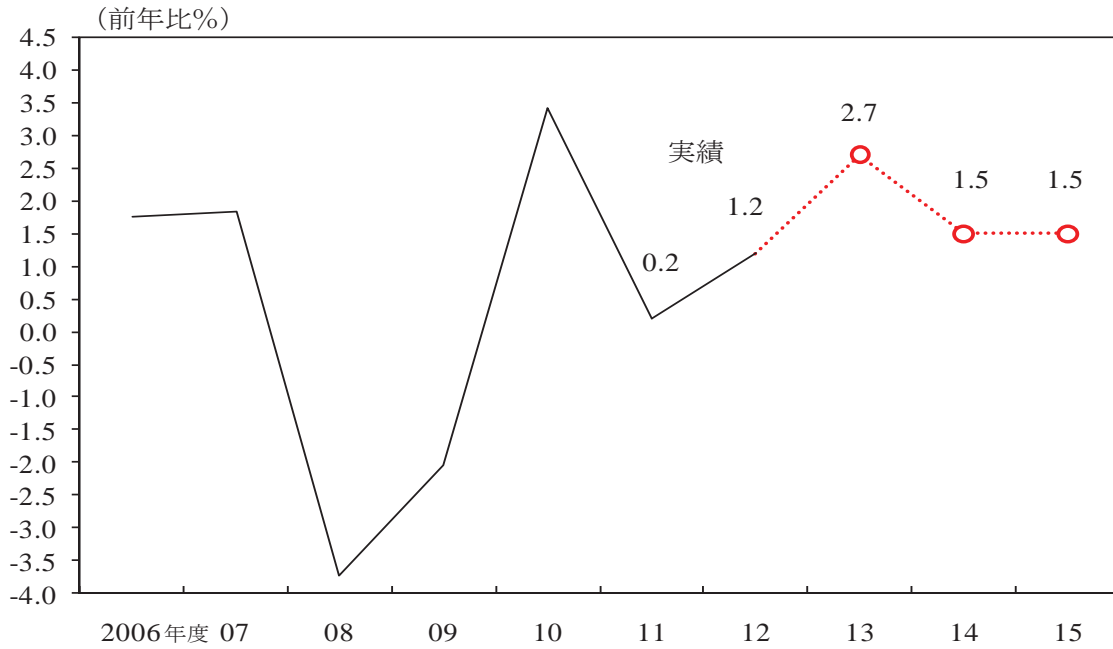
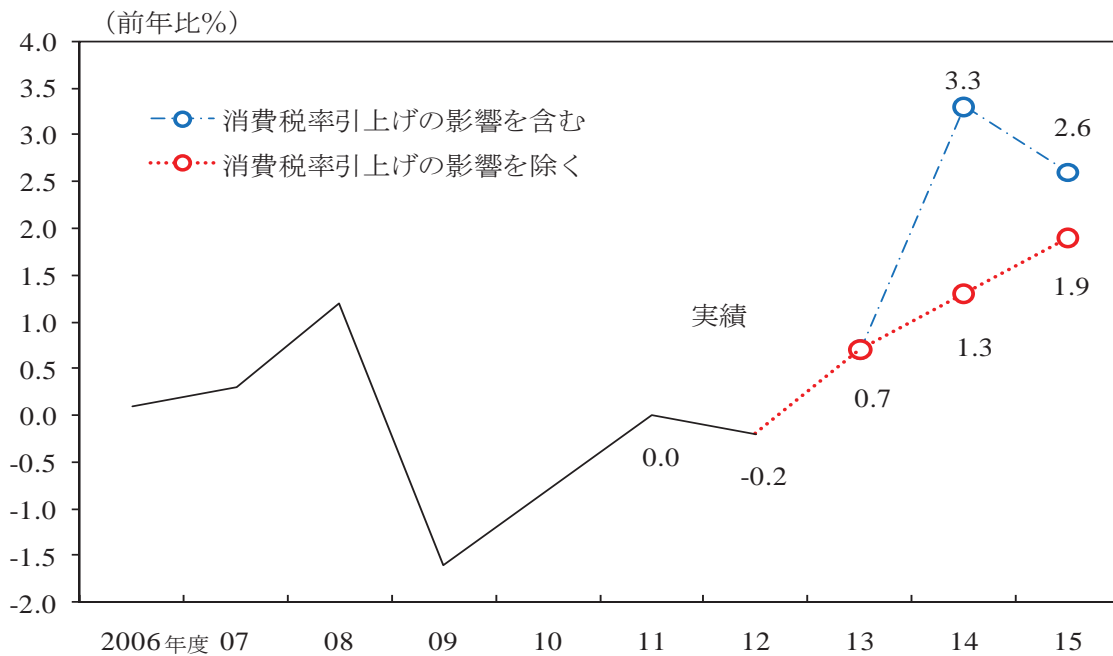


(図表 1)

実質 GDP の見通し



消費者物価の見通し



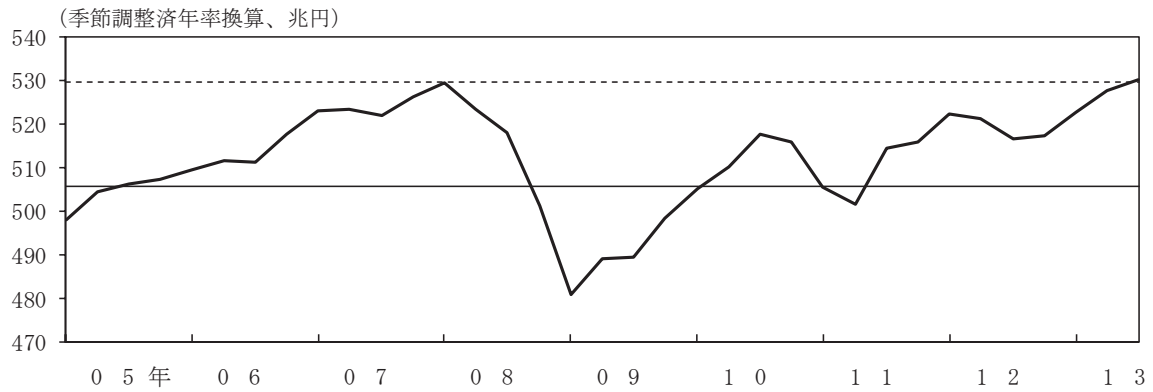
(注) ○印は政策委員の見通しの中央値を示す。

(出所) 日本銀行

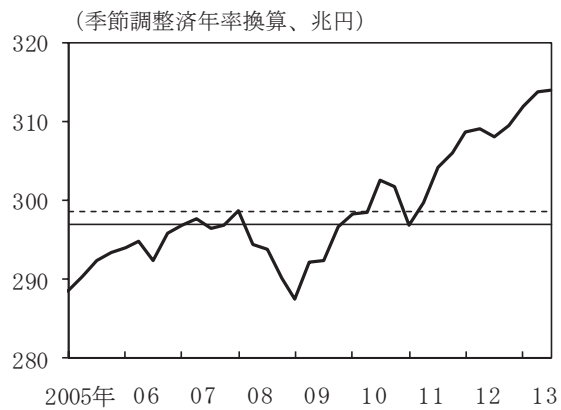
(図表 2)

実質 GDP とその構成項目

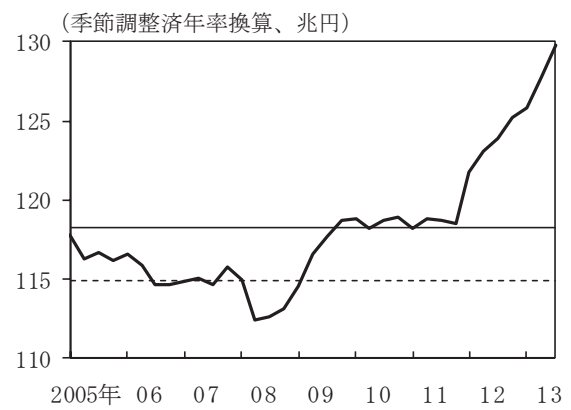
(1) 実質 GDP



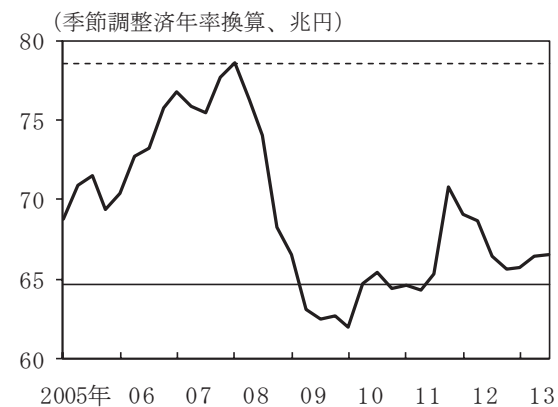
(2) 個人消費



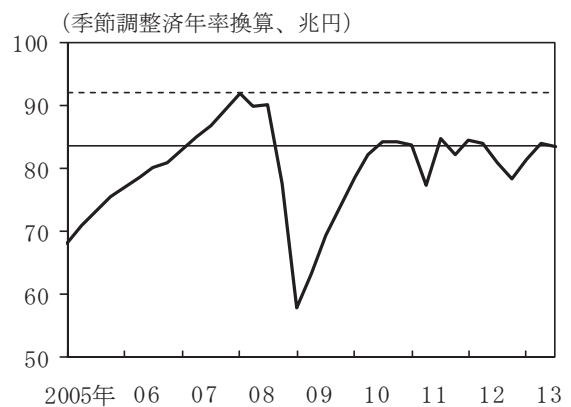
(3) 公的需要



(4) 設備投資



(5) 輸出



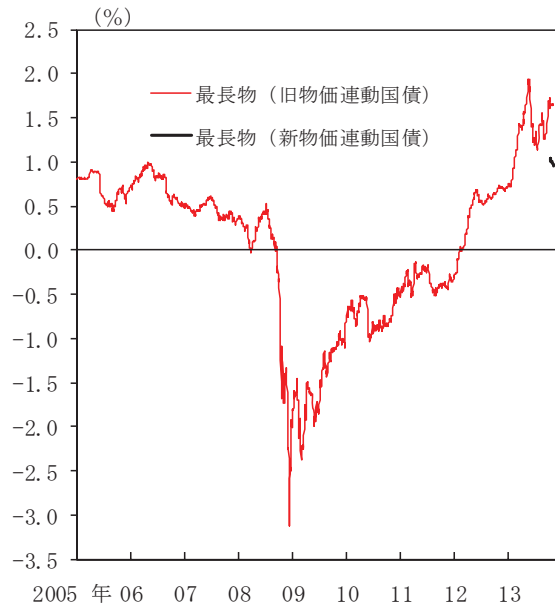
(注) 破線は 2008/1Q (リーマン・ショック直前に実質 GDP がピークとなった時点)、細実線は 2011/1Q (東日本大震災発生時) の値。

(出所) 内閣府

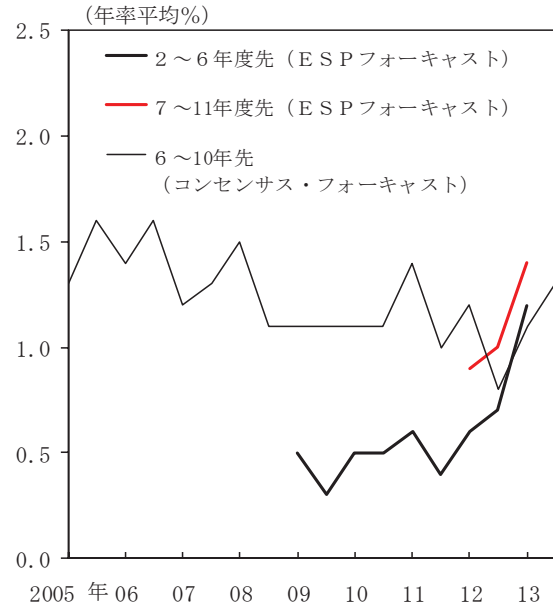
(図表3)

中長期の予想インフレ率の動向

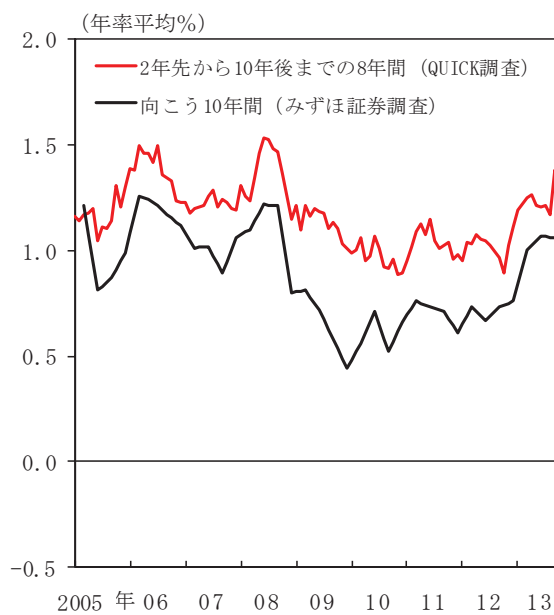
(1) 物価連動国債のBEI



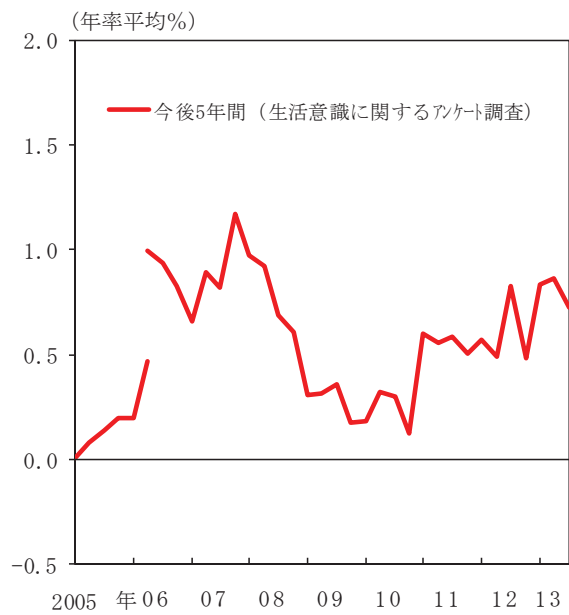
(2) エコノミスト



(3) 市場参加者



(4) 家計

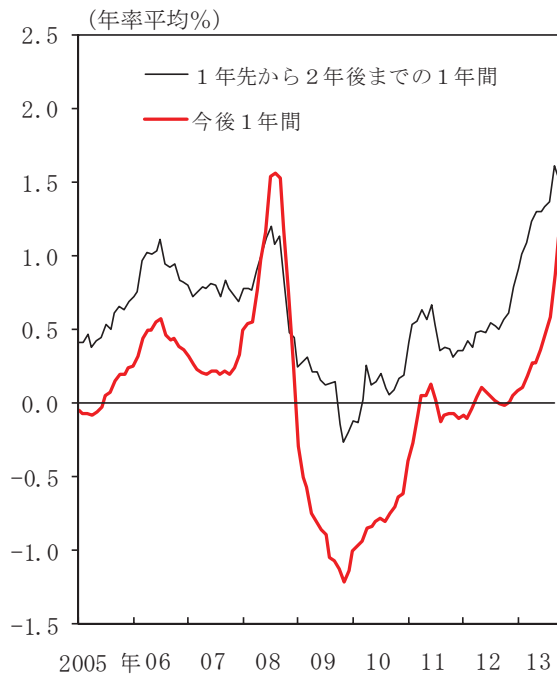


(出所) 日本銀行、Consensus Economics「コンセンサス・フォーキャスト」、日本経済研究センター、QUICK、みずほ証券、Bloomberg

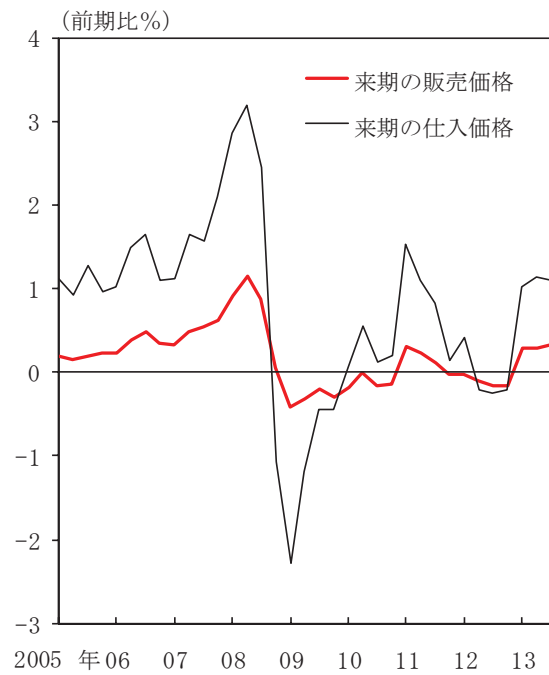
(図表 4)

短期の予想インフレ率の動向

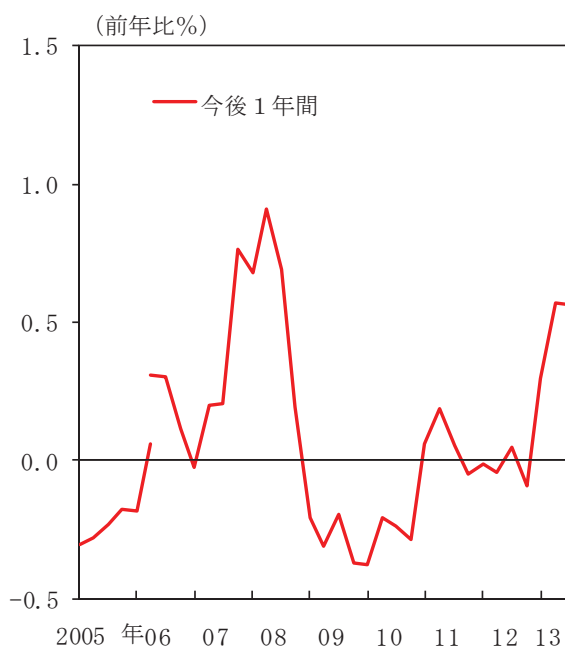
(1) 市場参加者 (QUICK 調査)



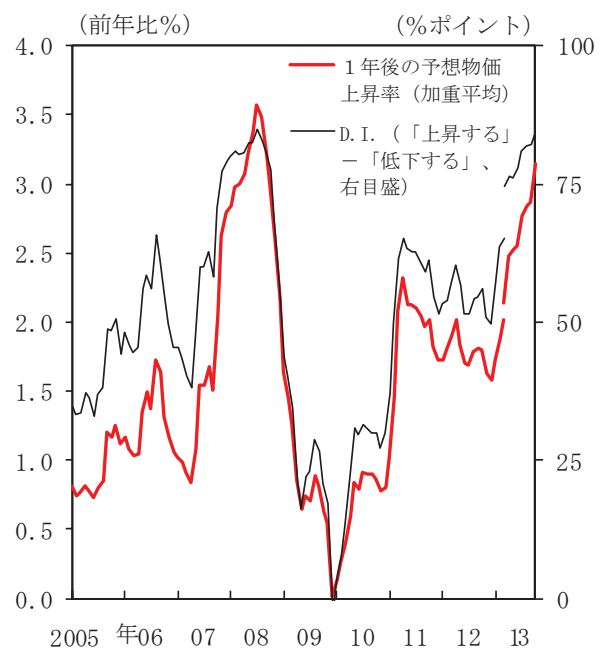
(2) 企業 (短観)



(3) 家計 (生活意識に関するアンケート調査)



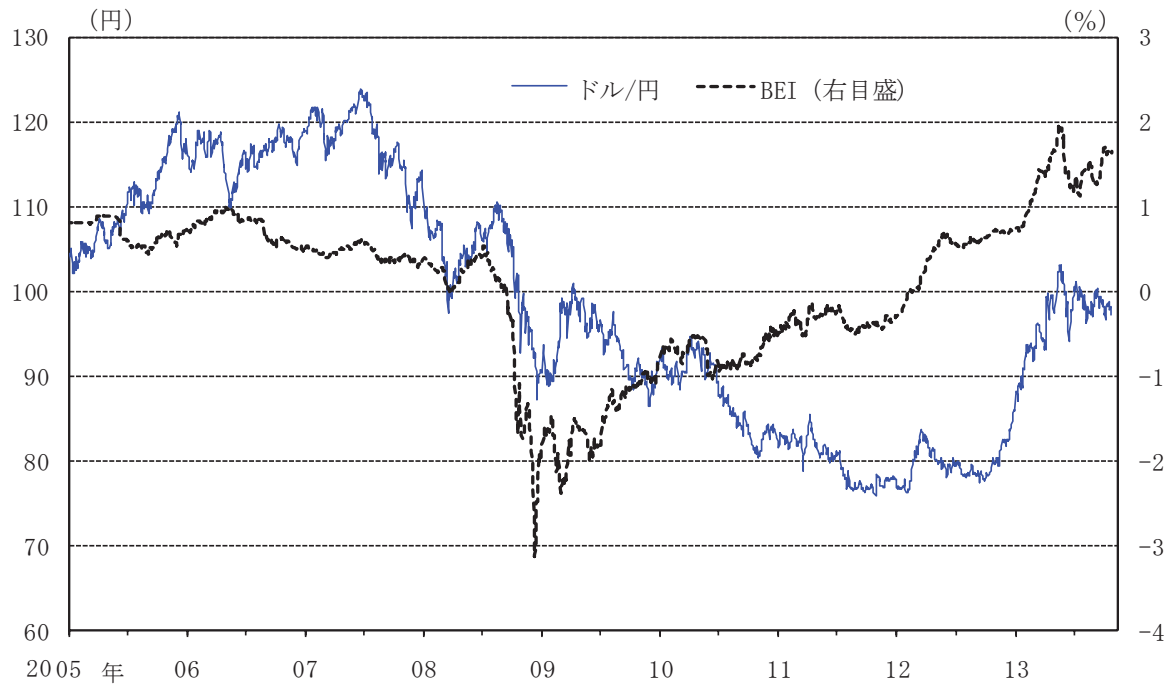
(4) 家計 (消費者動向調査)



(出所) 日本銀行、内閣府、総務省、QUICK

(図表 5)

物価連動国債の BEI と円ドルレート



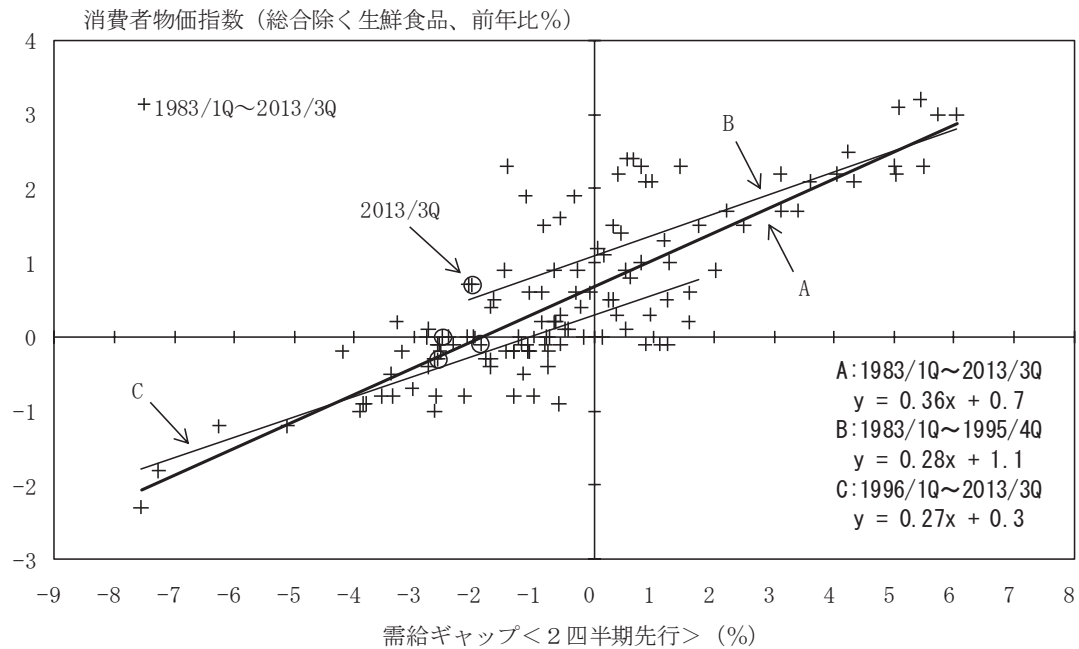
(注) BEI は最長物。

(出所) QUICK、Bloomberg

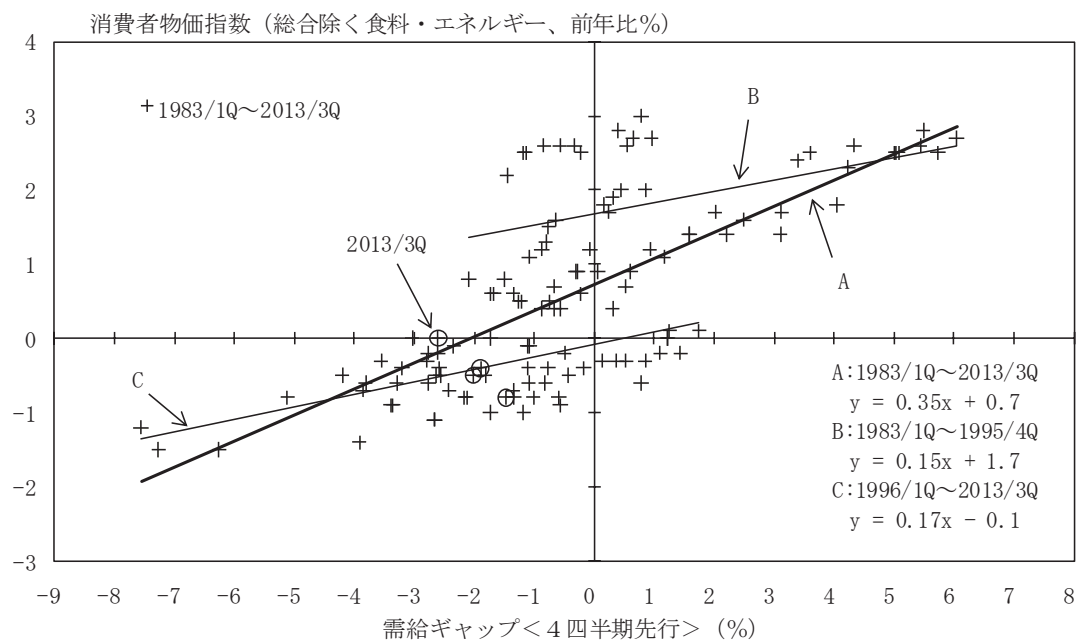
(図表6)

フィリップス曲線

(1) フィリップス曲線 (総合除く生鮮食品)



(2) フィリップス曲線 (総合除く食料・エネルギー)

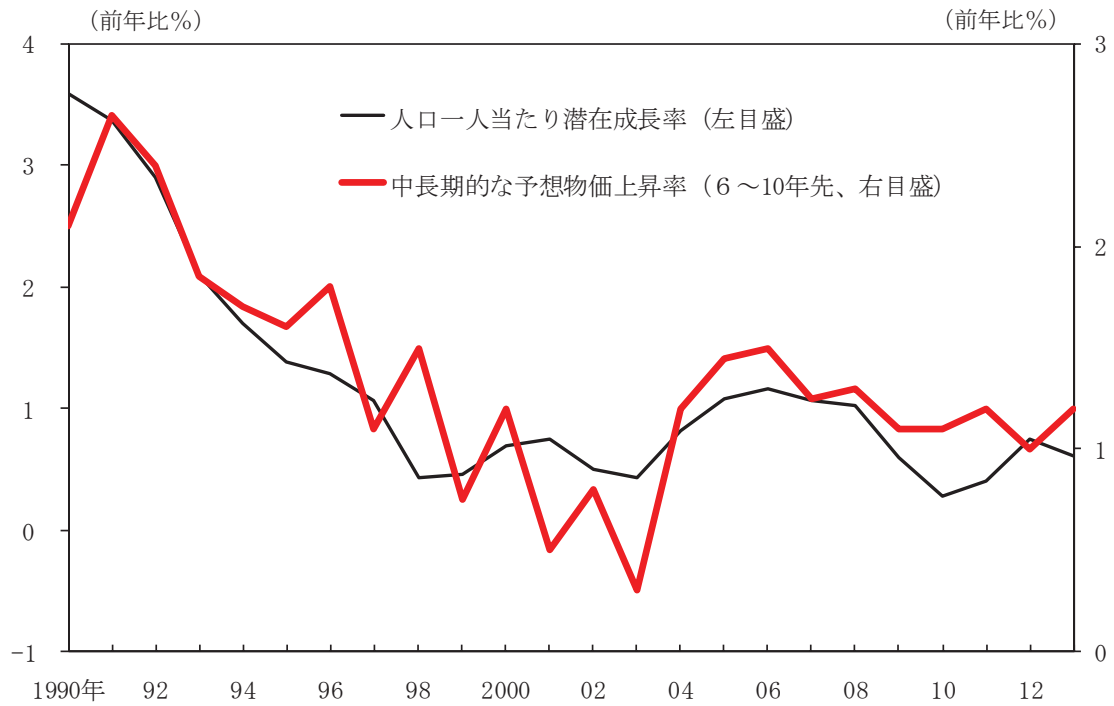


(注) 需給ギャップは日本銀行試算値。

(出所) 日本銀行、総務省、内閣府

(図表 7)

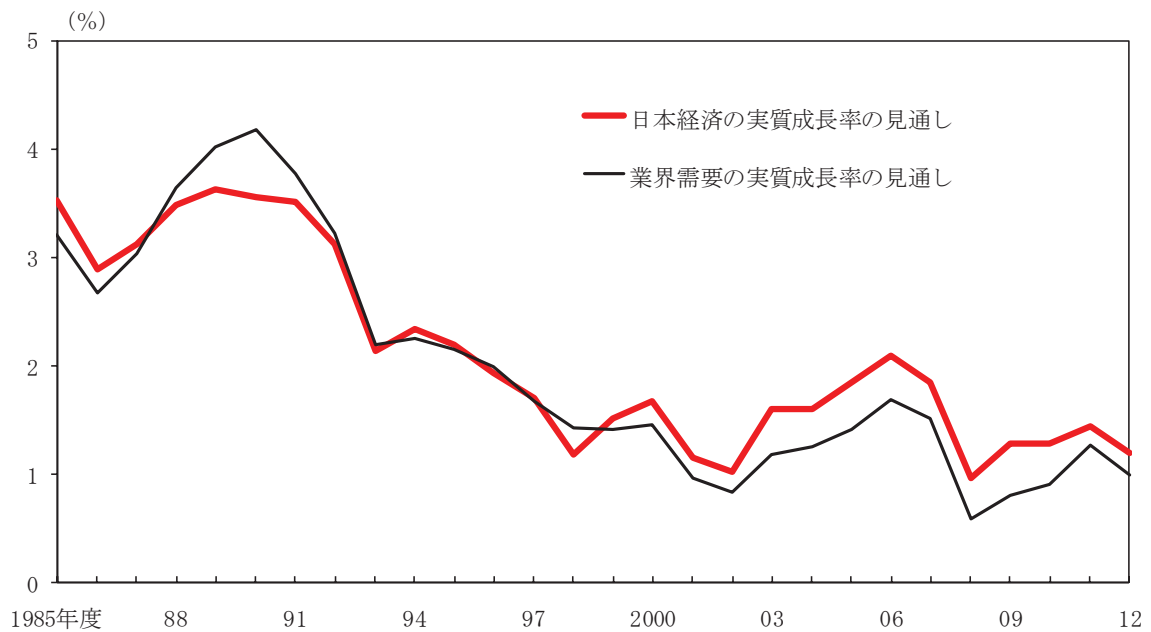
中長期的な予想インフレ率と潜在成長率の動向



(出所) 内閣府、Consensus Economics 「コンセンサス・フォーキャスト」

(図表 8)

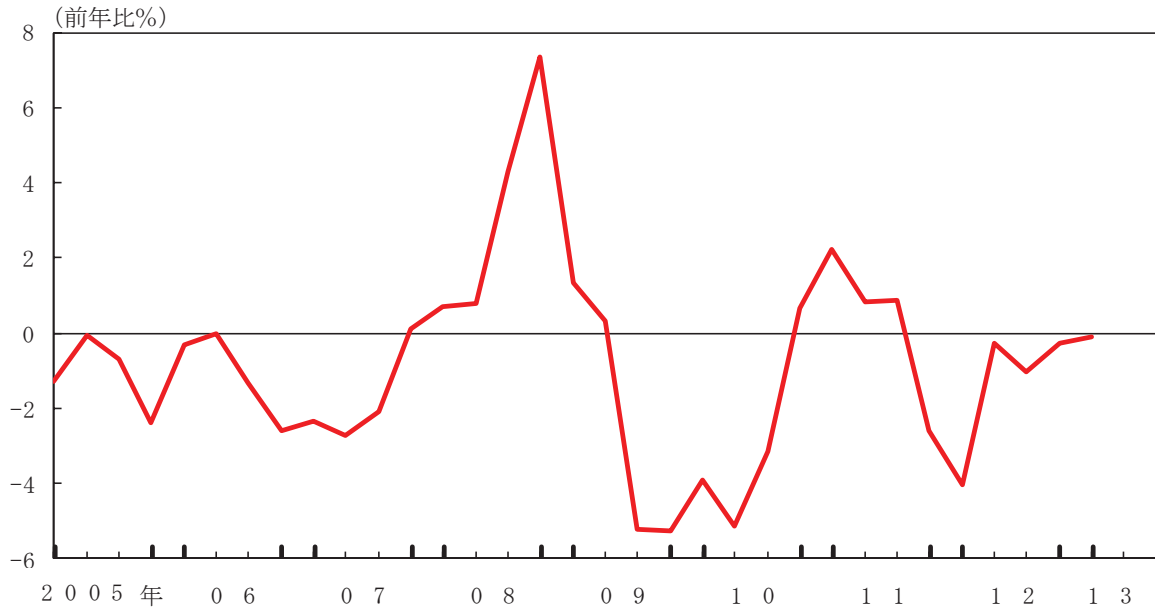
企業の期待成長率 (今後 5 年間) の動向



(出所) 内閣府

(図表 9)

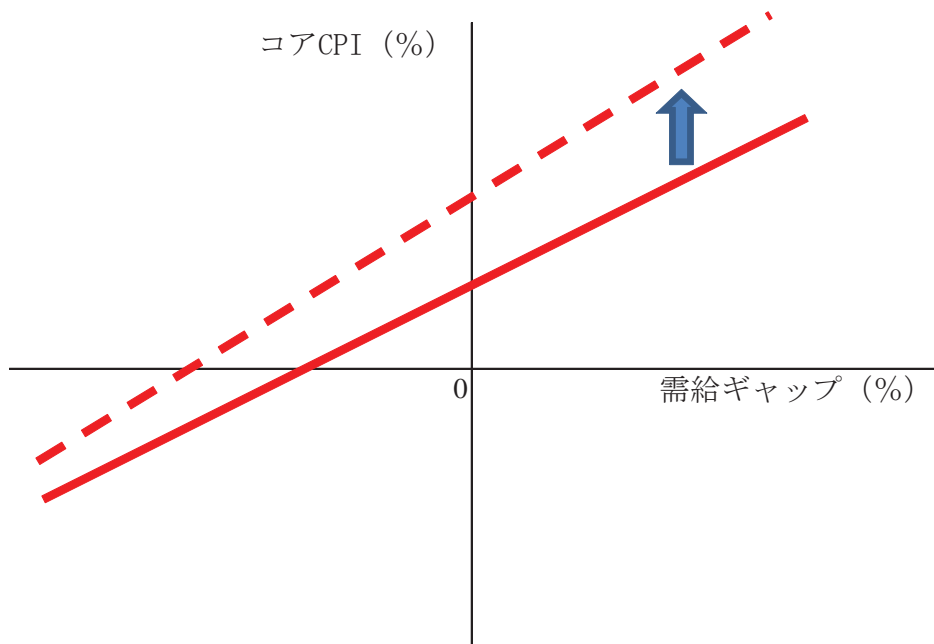
ユニットレーバークストの動向



(出所) 内閣府

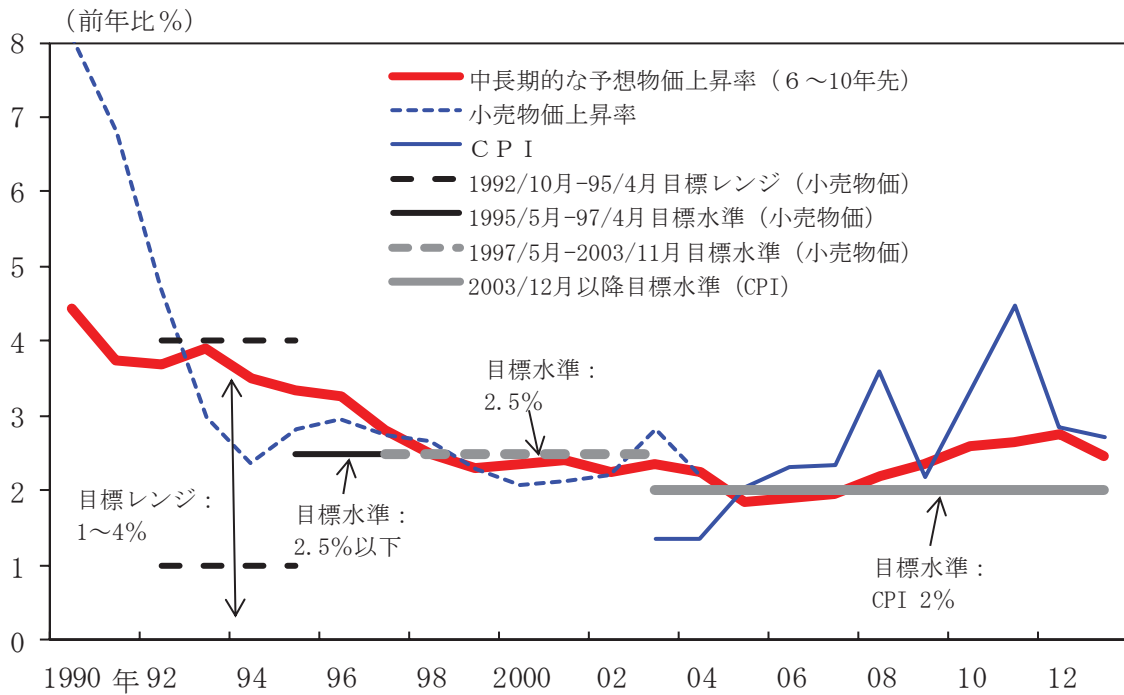
(図表 10)

フィリップス曲線の上方シフトと勾配のステイプ化



(図表 1 1)

英国のインフレ率と中長期的な予想インフレ率

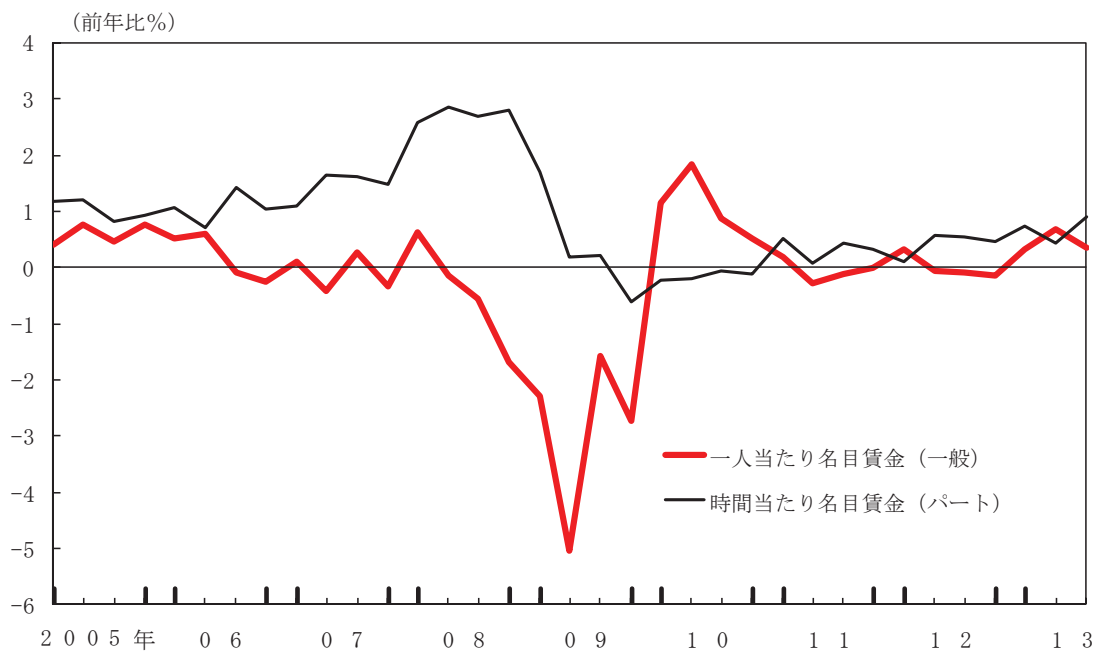


(注) 小売物価は住宅ローン金利を除いた指数を指す。

(出所) Consensus Economics 「コンセンサス・フォーキャスト」、Office for National Statistics、イングランド銀行

(図表 1 2)

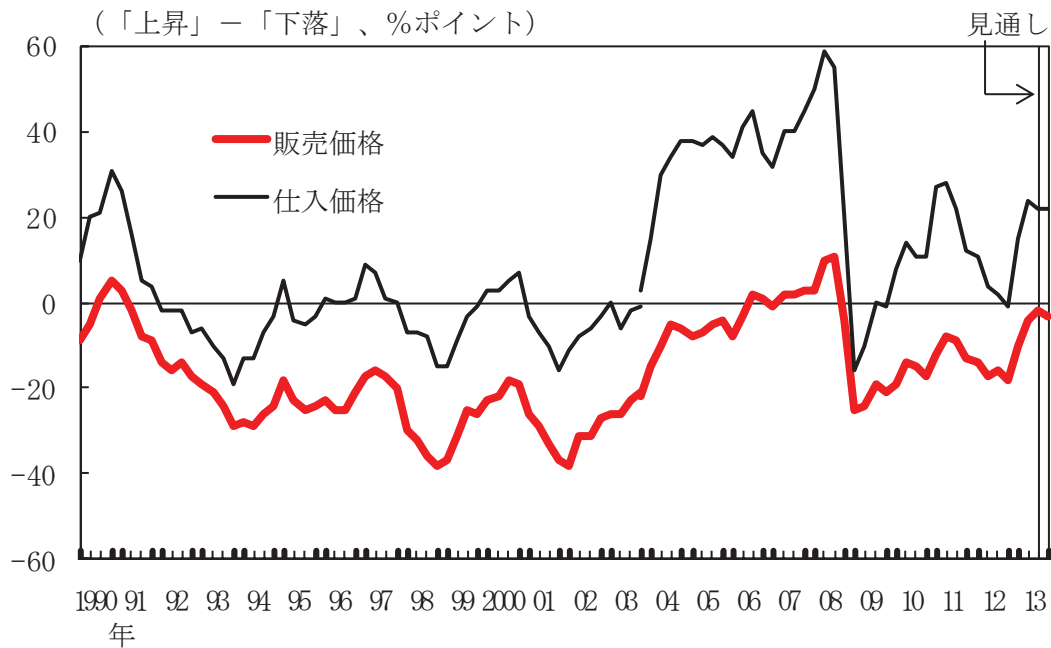
一般・パート労働者別賃金の動向



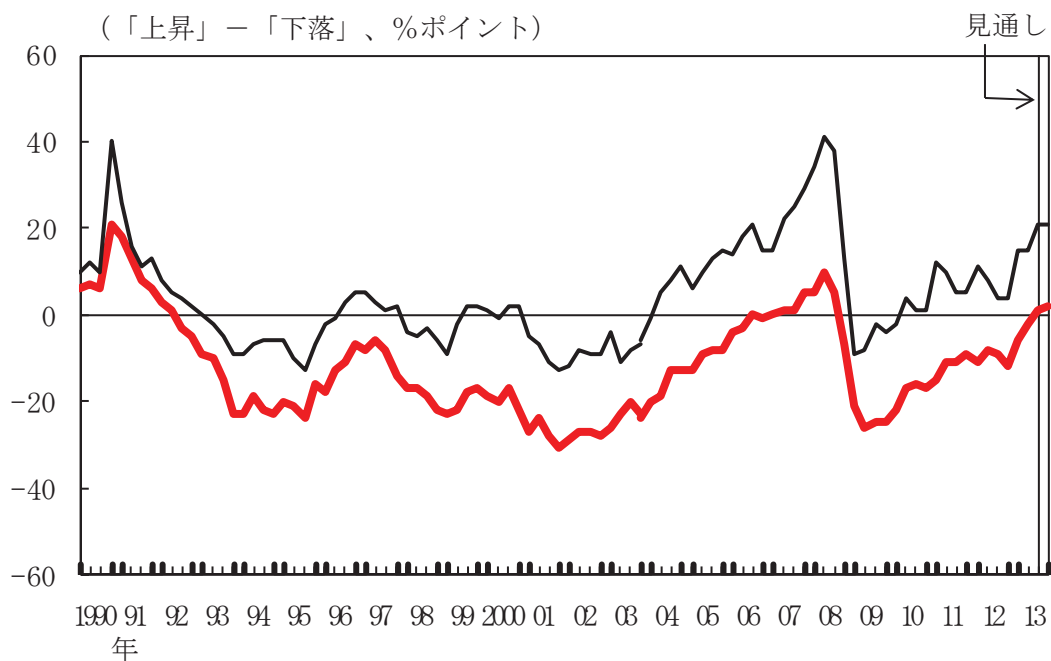
(出所) 厚生労働省

日銀短観の販売価格判断 D.I.と仕入価格判断 D.I. (1)

(1) 大企業・製造業



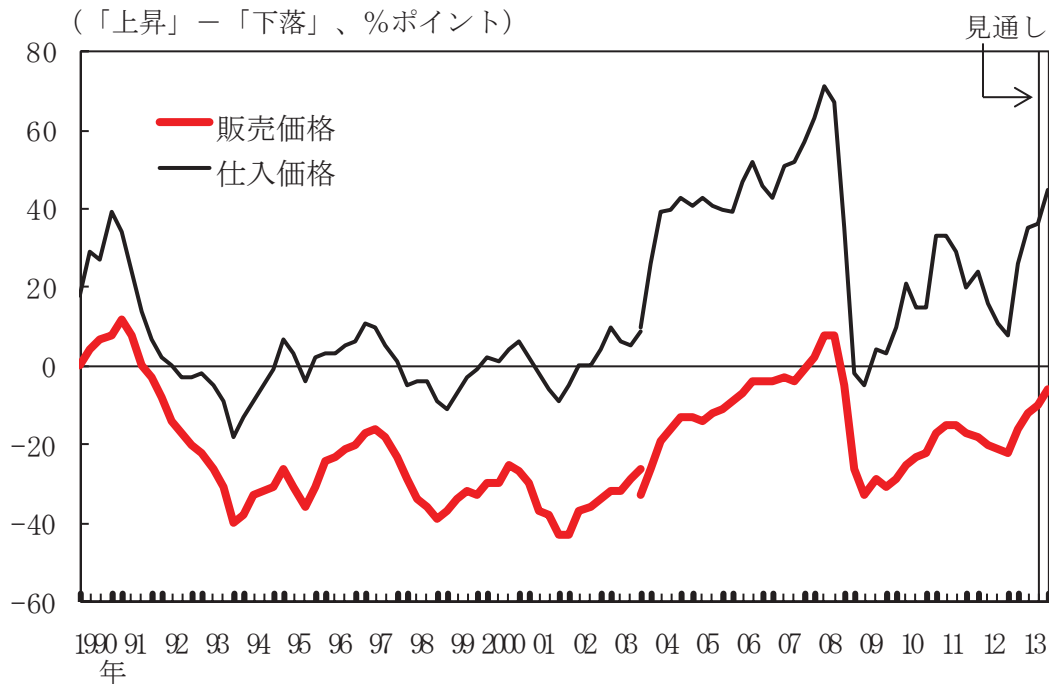
(2) 大企業・非製造業



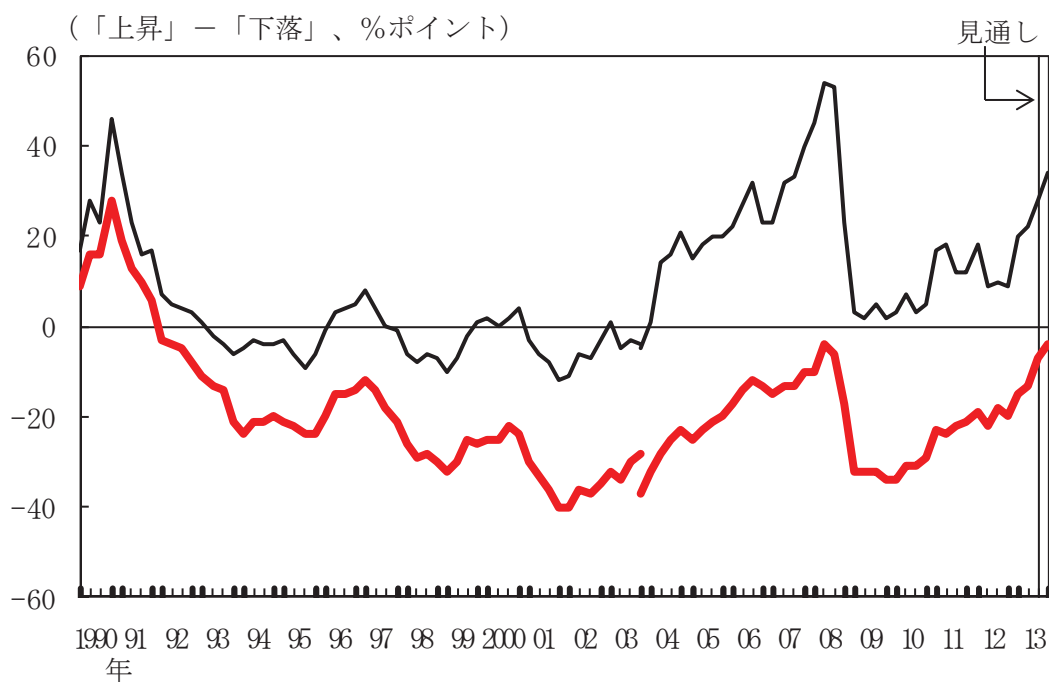
(出所) 日本銀行

日銀短観の販売価格判断 D.I.と仕入価格判断 D.I. (2)

(3) 中小企業・製造業



(4) 中小企業・非製造業

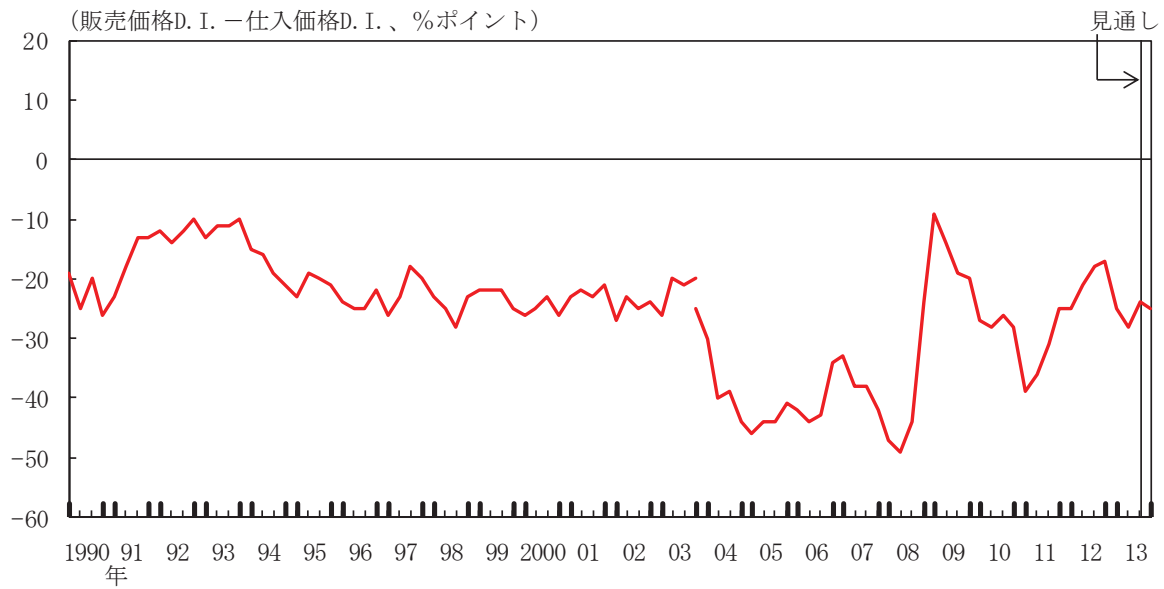


(出所) 日本銀行

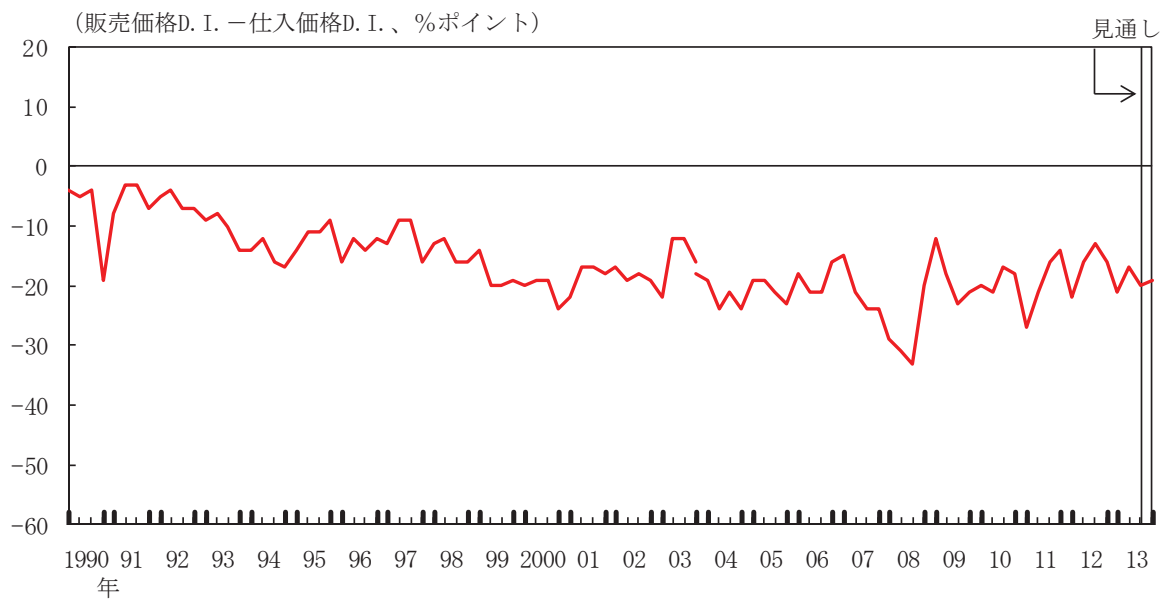
(図表 1 4 - 1)

日銀短観の販売価格と仕入価格の判断 D.I. の差 (利益マージン)

(1) 大企業・製造業



(2) 大企業・非製造業

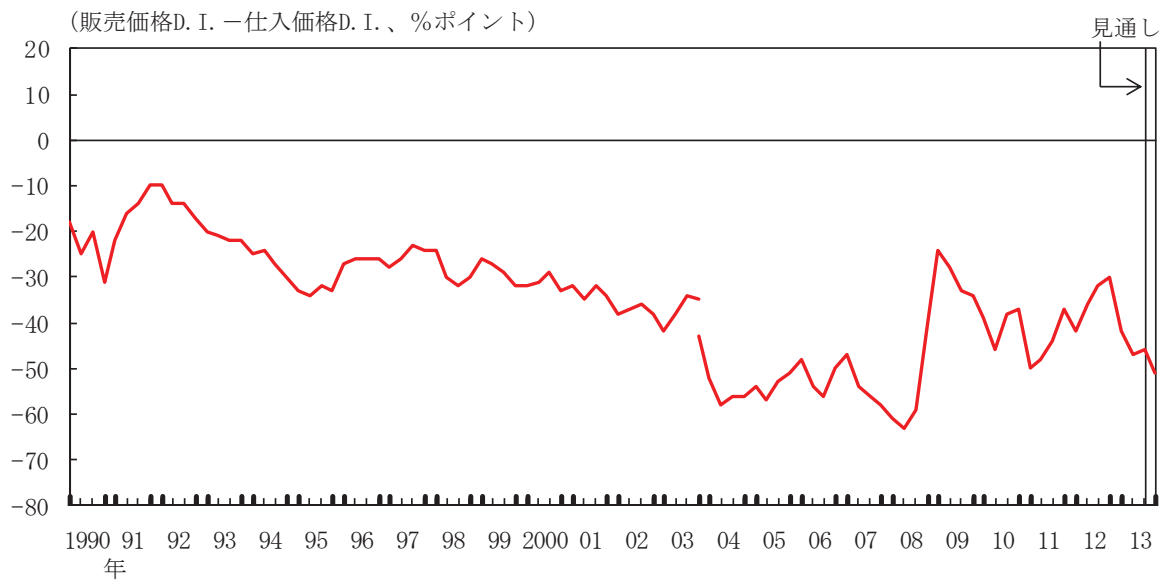


(出所) 日本銀行

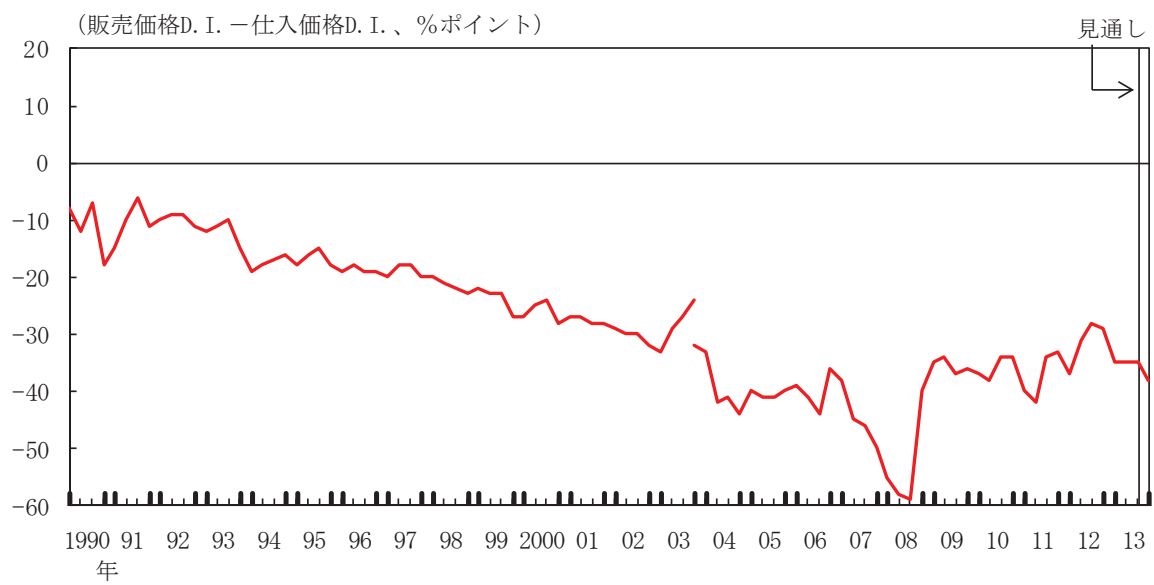
(図表 1 4 - 2)

日銀短観の販売価格と仕入価格の判断 D.I. の差 (利益マージン)

(3) 中小企業・製造業



(4) 中小企業・非製造業



(出所) 日本銀行